

平成26年度

事業報告書

## 4. 事業

### (1) 発掘調査

平成 26 年度発掘調査受託事業収入の当初予算額は、860,750,000 円であったが、調査の進捗状況等により、最終的に契約金額 851,851,000 円（契約件数 14 件）となった。

区 分	当初予定	契約実績	差異
受託事業費（千円）	860,750 千円	851,851 千円	△8,899 千円
契 約 件 数（件）	14 件	14 件	0 件
発掘調査（北部）	0 件	0 件	0 件
発掘調査（中部）	4 件	3 件	△1 件
発掘調査（南部）	7 件	8 件	1 件
合 計（件）	11 件	11 件	0 件
遺 物 整 理（件）	3 件	3 件	0 件

なお、調査を実施したもののうち、特に顕著な調査成果が得られているものは、下表のとおりである。現地説明会は 7 回実施し、参加総数は 2,120 名である。

番号	遺 跡 名	所在地	主 要 遺 構 等	時 代
1	松井横穴群ほか （新名神）	京田辺 市松井	1 トレンチで 21 基、2 トレンチで 14 基の横穴の調査を実施。平成 23 年度から始まった松井横穴の調査では、総数 70 基の横穴の調査をおこなった。	古墳・ 中世
2	下水主遺跡ほか	城陽市 寺田	13 世紀以降の島畑 古墳時代前期の溝 縄文時代晩期の包含層	縄文・ 古墳・ 中世
6	平安京跡・東本願寺前古墓群	京都市 下京区	14 世紀の土坑群 鎌倉時代の土坑・溝ほか 平安時代の土坑	平安時 代～中 世

調査報告書については各 300 部印刷し、以下のとおり刊行した。

- 『京都府遺跡調査報告集 第 161 冊』 3 月刊行
- 『京都府遺跡調査報告集 第 162 冊』 3 月刊行
- 『京都府遺跡調査報告集 第 163 冊』 3 月刊行

(2) 普及啓発

(ア) 埋蔵文化財セミナー

埋蔵文化財セミナーは、次のとおり実施した。

回数	開催日	実施内容	会場
127	平成 26 年 6 月 7 日 (土)	『いにしへの丹後地域のムラと墓 — 弥生・古墳時代の最新成果から—』 ・石田谷遺跡・由里古墳群の調査成果について 当調査研究センター 主査 岡崎研一 ・丹後の弥生時代から古墳時代の集落動向について 宮津市教育委員会総括室 主査 河森一浩氏 ・丹後地域における古墳時代の石棺文化 与謝野町教育委員会事務局 係長 加藤晴彦氏	京都府立丹後 郷土資料館 (参加者 96 名)
128	平成 26 年 8 月 23 日 (土)	『中世の中世社会を解明する』— ・中世のムラ・館 京都・北から南～ 当調査研究センター総括主査 伊野近富 ・中世 やかたの暮らしぶり—向日市上植野城の調査 から— 公益財団法人向日市埋蔵文化財センター 主任 中塚 良氏 ・「第 29 回小さな展覧会」の見どころ 当調査研究センター調査員 加藤雅士	向日市民会館 (参加者 83 名)
129	平成 27 年 2 月 21 日 (土)	『都城と古代交通』 ・恭仁宮跡の構造を探る—最新の発掘調査成果から— 京都府教育庁指導部文化財保護課 主任 古川 匠氏 ・古代山陽道沿いの遺跡の調査 —京田辺市三山木遺跡他の調査から— 京田辺市教育委員会社会教育・スポーツ 推進課 係長 鷹野一太郎氏 ・木津川流域の古代遺跡と道 —内里八丁遺跡と芝山遺跡— 当調査研究センター主査 伊賀高弘	京田辺市立社 会福祉センター (参加者 75 名)

(イ) 小さな展覧会

平成 25 年度に当調査研究センターが実施した調査成果を中心として、府内で各調査機関が実施した調査成果も加えた展覧会を、向日市文化資料館 2 階研修室で、平成 26 年 8 月 16 日(土)から 9 月 7 日(日)まで開催した。

企画展示としては、「中世京都のおもてなし」と題し、京都府内を平安京・山城・丹波・丹後地域にわけて、各地域の特徴をわかりやすく展示した。(参加者 1,824 名)

## (ウ) 機関誌

機関誌『京都府埋蔵文化財情報』は、次のとおり刊行した。

第124号	10月刊行	1,500部
第125号	1月刊行	1,500部
第126号	3月刊行	1,500部

## (エ) 共同研究

今年度は、以下の共同研究を実施した。(○は代表者)

- ① 日本海周辺地域における弥生時代後期から古墳時代初頭の地域間交流—木製品と土器の再評価—  
○高野陽子、山崎美輪、福山博章
- ② 日本海沿岸出土の輸入陶磁器  
○綾部侑真、伊野近富、竹村亮仁
- ③ 古代にける「繊維製品」の研究  
○松尾史子、伊賀高弘

## (オ) 考古学講座

「関西考古学の日」関連事業として、夏休み考古学体験講座を4回開催するとともに、秋の考古学講座を2回実施した。参加者は延べ137名であった。

また、向日市まつりに、公益財団法人向日市埋蔵文化財センターと共催で「ドキ土器！むかし体験クラブ」ブースを運営し、泥めんこを使った遊び体験と拓本体験を行った。

	開催日	講師	テーマ	受講者
1	8月20日(日)	小池 寛・ 松尾史子	「まがたまづくり」	105名
2	8月30日(土)			
3	10月18日(土)	肥後弘幸	「邪馬台国時代の近畿」	21名
4	11月15日(土)	石井清司	「縄文丸木舟」	10名
5	11月15日(土) ～16日(日)	肥後弘幸 小池 寛 田中 彰 伊賀高弘 松尾史子	向日市まつり(共催行事) 「江戸時代の泥めんこであそぼう！ あそびと拓本体験」	95組

## 5. 職員研修

### (1) 専門研修

外部研修として、文化庁主催の埋蔵文化財担当職員講習会、奈良文化財研究所の専門研修などに参加した。

また、内部研修として城陽市下水主遺跡の調査成果を踏まえて、遺跡検討会を実施した。

### (2) 一般研修

当調査研究センター人権研修推進委員会が中心となり、職場研修を実施した。また、加藤雪香理事を講師に迎えて人権研修を実施した。

外部研修として、京都府教育庁主催の人権問題研修会及び公益財団法人世界人権問題研究センター主催の「人権大学講座」等を積極的に受講した。